

**戦略3 次世代に向けた住みよいえべつづくり**

計画期間 平成26年度～平成30年度

主管部局 健康福祉部・建設部 関係部局 企画政策部、教育部

**めざす姿**

- 子どもを産み育てたいと思えるまち、子育て後も安心して暮らせるまちをめざします。
- 駅周辺の利便性を向上させるとともに、駅を中心とした拠点とその他の地区とネットワークを充実させ、すべての市民が快適に暮らせるまちをめざします。

戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

名称	実績		予算額					
	H26年度		H27年度		H28年度			
					当初	H27補正	計	
3 A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり	84,275	千円	830,789	千円	316,108	0	316,108	千円
3 B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり (えべつ版コンパクトなまちづくり)	1,007,261	千円	1,128,518	千円	669,167	1,608	670,775	千円
計	1,091,536	千円	1,959,307	千円	985,275	1,608	986,883	千円

※H27年度はH26年度補正前倒し含む

**戦略プロジェクト3 A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり**

**【プロジェクトの目標】**  
 子どもを産み育てる環境を充実させるとともに、多世代が関わり合いながら、社会全体で子育てをサポートする環境をつくることで、「子育てしながら働きやすいまち」「子どもを産み育てやすいまち」をめざし、子育て世代の定住促進に取り組んでいきます。

◆成果指標3 A-1 子育て環境が充実していると思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
49.2	44.4					60.0

◆成果指標3 A-2 江別市で子どもを産み育てたいと考えて転入してきた子育て世代（20～40代）の割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
5.7	6.3					8.0

<28年度の方針>

戦略プロジェクト3 A「社会全体で子どもを産み育てる環境づくり」は、子育て応援のまちの実現をめざし、子育て環境の充実、子育て世代の更なる定住促進を図るため、以下のとおり事業を進めていく。

◆推進プログラム①「子どもを安心して産み育てられる支援体制の整備」では、保育園の待機児童を解消するため、公立保育園の整備とともに、認定こども園や小規模保育施設の施設整備等を支援し、提供体制の確保（定員増）を図る。また、妊娠・出産・子育てに関心や理解を深めるためのイベントを開催する。

◆推進プログラム②「子育て世代が定住したくなる住環境の整備と教育内容の充実」では、「小中学校学習サポート事業」を継続するとともに、「小中学校外国語教育支援事業」として、外国語指導助手の小中学校事業を統合した上で、引き続き外国語教育を推進する。また、「児童生徒体力向上事業」では、大学との連携により、各学校への体力向上の取組の普及を図る。

◆推進プログラム③「多世代が交流する子どもの遊び場の充実」では、通年型全天候施設「ぼこ あ ぼこ」をはじめ、全市的に展開している出前型子育てひろば「あそびのひろば」や、「地域子育て支援センター」における事業の充実を図るとともに、新設する「よつば保育園」内に子育て支援センターを新たに設置するなど、子育て支援体制の整備と子育て支援事業の拡充を図る。

◇推進プログラム3A-① 子どもを安心して産み育てられる支援体制の整備

<課題>

- 年度途中からでも待機することなく保育園に入園できる体制の整備
- 多様な保育（子育て支援）ニーズへの対応
- 妊娠・出産・育児に対する意識（関心・理解）の向上

<取組の概要>

- ・待機児童解消の推進（子ども・子育て支援事業計画に基づく保育体制の整備）
- ・市立保育園の整備と運営等に関する計画推進（よつば保育園の建設）
- ・意識を高めるイベントや講演会の開催

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度(予算)	備 考
待機児童解消対策事業	入所できた児童数	13 人	99 人	97 人	
	事業費	6,475 千円	113,109 千円	165,706 千円	
よつば保育園建設整備事業	入所児童数	116 人	140 人	140 人	H28事業名変更
	入所率	97 %	100 %	100 %	
	事業費	22,077 千円	657,459 千円	81,273 千円	
いのちを育むイベント事業	参加延べ人数	—	—	150 人	H28新規事業
	事業費	— 千円	— 千円	221 千円	

◇推進プログラム3A-② 子育て世代が定住したくなる住環境の整備と教育内容の充実

<課題>

- 学力の向上
- 外国語活動の低年齢化への対応
- スポーツに親しむ環境の整備
- 市営住宅全団地に子育て世帯優先枠を拡充

<取組の概要>

- ・全ての中学校で放課後の補充的学習を実施
- ・小学校4年生以下へ外国語活動を拡大
- ・大学による出前講座など、体力向上を支援
- ・各団地の子育て世帯の入居を優先

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度(予算)	備 考
小中学校学習サポート事業	学習サポート教員の年間派遣回数	3,707 回	3,780 回	3,665 回	
	事業費	9,163 千円	9,341 千円	9,327 千円	
児童生徒体力向上事業	児童生徒で体力が向上した割合（モデル校）	83 %	70 %	75 %	
	事業費	635 千円	636 千円	657 千円	
小学校外国語活動支援事業	小学校英語の総授業時数のうち、外国語指導助手が授業に入った割合	100 %	100 %	— %	H28年度から小中学校外国語教育支援事業へ統合
	事業費	19,099 千円	21,296 千円	— 千円	
小中学校外国語教育支援事業	外国の人とコミュニケーションをとってみたいと考える児童生徒の割合	—	—	100 %	H28新規事業
	事業費	— 千円	— 千円	29,118 千円	

◇推進プログラム3A-③ 多世代が交流する子どもの遊び場の充実

<課題>

- 天候に左右されずに遊べる場所と交流事業の展開
- より身近な地域での子育て支援事業の拡充・展開
- 多世代交流の場の提供と推進

<取組の概要>

- ・「ぼこ あ ぼこ」でのソフト事業の充実
- ・あそびのひろば事業の充実や、ボランティアの育成など、さまざまな運営主体への支援の検討
- ・子育て支援センターの新設（よつば保育園内）
- ・子育て支援センター等における情報提供、交流事業
- ・あそびのひろばにおける多世代交流事業の実施

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度(予算)	備 考
親子安心育成支援事業（子育てひろば事業）	ひろば延べ利用者数	93 千人	80 千人	80 千人	
	託児延べ利用者数	397 人	900 人	900 人	
	事業費	24,139 千円	26,014 千円	26,885 千円	
あそびのひろば事業	あそびのひろば参加組数	1,513 組	1,800 組	1,800 組	
	事業費	2,687 千円	2,934 千円	2,921 千円	

戦略プロジェクト3B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり（えべつ版コンパクトなまちづくり）

【プロジェクトの目標】

江別市のまちの特性に合わせた駅周辺の活性化を進め、魅力ある住みよいまちを実現するとともに、様々なライフスタイルに対応するため、駅周辺の利便性を向上させることで、誰もが暮らしやすいまちづくりに取り組んでいきます。

◆成果指標3B-1 駅周辺の利便性が高いと思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
65.7	62.6					74.0

◆成果指標3B-2 江別市が暮らしやすいと思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
74.3	75.7					78.0

<28年度の方針>

戦略プロジェクト3B「駅を中心とした暮らしやすいまちづくり（えべつ版コンパクトなまちづくり）」は、引き続き、野幌駅周辺の基盤整備やバス路線の見直し、大麻地区におけるライフステージに合わせた住みかえ支援など利便性向上のための取組を進めるほか、新たに人口減少対策としての定住促進を図るため、以下のとおり事業を進めていく。

- ◆推進プログラム①「様々なライフスタイルに対応した駅周辺の利便性の向上」では、引き続き江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業）を着実に推進することにより、駅周辺における利便性の向上を図る。
- ◆推進プログラム②「交通ネットワークの充実」では、バス実証運行の結果を踏まえ、地域公共交通会議において、駅を中心としたバス路線の再構築等の検討を進めます。
- ◆推進プログラム③「高齢者等がいきいきと活動しやすい居住環境の充実」では、大麻地区を活動拠点として、地域おこし協力隊を活用した住み替え相談体制を構築するとともに、ホームページ等による情報発信等を行う。また、親と同居・近居する世帯や多子世帯への住宅取得等を支援することにより、転入人口の増加及び転出人口の抑制を図る。

◇推進プログラム3B-① 様々なライフスタイルに対応した駅周辺の利便性の向上

<課題>

- 顔づくり事業の着実な推進
- 各駅周辺の利便性の向上

<取組の概要>

- ・野幌駅周辺の土地利用の増進
- ・駅周辺の快適性、利便性の向上
- ・バリアフリー化の推進

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度(予算)	備 考
江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業）	事業進捗率(累計)	63 %	80 %	83 %	
	事業費	1,001,384 千円	1,108,442 千円	609,606 千円	

◇推進プログラム3B-② 交通ネットワークの充実

<課題>

- バス交通の利用促進
- 南北間の交通ネットワーク構築と交通機能の向上
- バス利用に関する情報提供の工夫

<取組の概要>

- ・駅を中心としたバス路線見直しに向けた調査と実証運行を実施
- ・実証運行の結果を踏まえ、バス路線の再構築等の検討
- ・バス路線マップの随時見直しとバス利用の啓発を継続

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度(予算)	備 考
公共交通利用促進対策事業	バス輸送人員	548 千人	548 千人	523 千人	H27事業費はH26補正前倒し
	事業費	2,934 千円	0 千円	4,569 千円	18,338 千円

◇推進プログラム3B-③ 高齢者等がいきいきと活動しやすい居住環境の充実

<課題>

- 高齢者の住み替えニーズの把握
- 高齢者の住み替え先の確保
- 市内既存の高齢者向住宅に係る実態把握
- 建設事業者の意向把握、誘導、指導

<取組の概要>

- ・大麻地区に住み替え相談窓口を開設するとともに、交流農園・寺子屋などのソフト事業を実施
- ・地域おこし協力隊を活用した住み替え相談体制の構築
- ・ニーズと事業者のマッチング事業の研究
- ・親と同居・近居するための住宅取得等への支援を実施するとともに、多子世帯の住宅取得を支援

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度(予算)	備 考
大麻地区住環境活性化事業	住まい相談件数	7 件	10 件	10 件	H28事業費の一部をH27補正前倒し 1,608 千円
	事業費	2,943 千円	1,738 千円	4,992 千円	
住宅取得支援事業	支援により定住した世帯数	—	—	219 世帯	H28新規事業
	事業費	— 千円	— 千円	50,000 千円	